

酒田市民会館「希望ホール」開館記念

# 岸洋子 回顧展

「私の人生そのもの そんな歌を 私は歌いたい」



開催期間 平成16年7月1日(木)～8月1日(日) 期間中無休  
開館時間 午前9時～4時30分  
入館料 大人100円(65歳以上の方と身体障害者は無料)  
児童生徒50円(小中学生は土日無料)

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16  
TEL・FAX0234-24-6544

# 岸洋子の思い出・足跡

## ～プロフィール～

- 昭和 9年 酒田市新井田町に生まれる。
- 昭和28年 酒田東高卒。
- 昭和35年 第1回リサイタル(東京イノホール)開催。
- 昭和36年 キングレコード専属となる。レコード「たむけないで」発売。第5回山新3P賞受賞。
- 昭和39年 「夜明けのうた」でレコード大賞・歌唱賞を受ける。
- 昭和40年 第1回渡仏。持ち帰ったエンリコ・マシアスの「恋心」が大ヒット。以後「想い出のソレントアール」「わかっているの」等のマシアスのヒット曲多数。
- 昭和43年 第18回サンレモ音楽会(イタリア)に出場。「今宵あなたが聞く歌は」にて入賞。
- 昭和44年 「岸洋子リサイタル」(東京厚生年金会館大ホール)における歌唱にたいして芸術祭優秀賞を受賞。
- 昭和45年 「希望」大ヒット。レコード大賞・歌唱賞を受ける。秋、病に倒れる。
- 昭和46年 4月にカムバック。岸音楽事務所設立。
- 昭和51年 酒田大火の後、義捐金募集で全国行脚の公演をし、酒田市に寄付。
- 昭和54年 歌手生活20周年を迎える。「岸洋子リサイタル'79 歌-20年」(新宿文化センター)をイラストレーター 和田誠氏の構成、渡壁輝氏の演出で開催。紺綬褒章受章。
- 昭和58年 自伝「さくらんぼの楽譜」出版。
- 昭和59年 歌手生活25周年を迎える。「岸洋子リサイタル～人生はいいもの～」(NHKホール)を村田大氏の構成、演出で開催。このリサイタルにおける歌唱にたいして芸術祭優秀賞を受賞。
- 昭和63年 酒田市特別功労表彰を受ける。
- 平成 1年 歌手生活30周年を迎える。「岸洋子リサイタル'89 歌-30年」(ゆうまうと)を和田誠氏の構成・演出で開催。病気療養のため1年間休養。
- 平成 2年 体調も十分に快復し、9月より各地でカムバックコンサート「岸洋子リサイタル'91」を和田誠氏の構成・演出で開催。10月の東京厚生年金会館で2年振りのコンサートを待ち望んでいたファンの期待に、以前にもまして熱唱で応えた。
- 平成 4年 12月11日永眠。(享年58歳)



### なんとなく人生 「歌手生活20周年記念・岸洋子」より

歌とかかわりあいをもってから、20年の月日がたってしまった。うたいはじめたのが、ついこの間のようにおもえるが、考えてみれば、いろいろなことがあって、歳月の重さを感じない訳にはいかない。あきもせず、どうして歌っているのかしらと時々おもうが、なんとなくうたい続けているうちに<sup>20</sup>年にもなるのだからあきれはてている。素晴らしい歌との出会い、たくさんの方々との語り、歌で救われ、傷つき、歌を通して多くのことを学んだような気がする。私にとっての喜び、そして悲しみ、怒り、憎しみ、それは全て歌そのものなのである。私のくちびるから歌があふれるとき、そのヒトフレーズ、ヒトフレーズが、私の人生そのものであったら、そんな歌がうたえたら、言うことはないのだが… ああでもない、こうでもないと言いながら、これからもまた、なんとなくうたい続けていくのではないだろうか。

### 人生はいいもの 「歌手生活25周年記念リサイタル」より

歌とかかわりあいを持って25年になりました。「歌以外にどんな仕事をやってみたいですか」と、よく聞かれます。草花を育てる仕事でしょうか。子供の好きな私は、幼稚園の先生にも一寸魅力があります。あれもやってみたい、これもやってみたい、でも……………歌っている瞬間が一番正直で、素直な私です。小さい頃からプリマドンナを夢みて歌の世界以外は思いもつかなかった私ですが、こうして25年の年月を重ねてみると、歌い続けてきたこと、歌うことのできた幸せを、今、強く感じています。そして、何よりもこの年月を確かな手応えにしてくださったのは、多くの皆様の変らぬ熱い拍手です。私も、私の歌の熱い炎が消えない限り30年、40年と歌いつづけることができたなら……「人生はいいもの」と心から思います。

岸 洋子



酒田市特別功労表彰

## ファンより一言

西村晃

白と黒が とっても似合う人  
岸洋子が うたいだす  
私たちが別の世界へつれていってくれる

死とむきあって 生きてきた人  
岸洋子が うたいだす  
私たちに人生をささやいてくれる

私は、岸洋子の大ファンです。

シヤンソンは、学生時代から好きでした。海軍航空隊時代にも、よく、「バリ祭」をうたったものです。

そんな私が「不思議な不思議な音楽会」という舞台を、岸洋子と二人で演りました。人間なのであいは不思議なものです。

三十数回のステージに、汗しましたねえ。うたと芝居で、舞台の空間を埋めた、あのときの不安とよるこび……。

私の財産になりました。あれから、もう八年もたってしまいました。

年ごとのリサイタル  
私は楽しみにしています  
自分をふるいたたせ  
自分の可能性をためす  
岸洋子の舞台姿  
私は楽しみにしています

スポット ライトにつつまれる  
岸洋子が うたいだす  
私たちに想い出をひきだしてくる

幕が降り 拍手につつまれる  
岸洋子が また うたいだす  
私たちはいつまでも別れを惜しむ

私は、岸洋子の大ファンです。

